

研究課題「GPS 行動特徴を用いた精神疾患の鑑別診断・症状・社会転帰の予測」にご参加
いただきました研究参加者の皆様もしくは代諾者の皆様

2022年2月2日
東京大学大学院総合文化研究科 小池進介

先日は、研究課題「GPS 行動特徴を用いた精神疾患の鑑別診断・症状・社会転帰の予測」
にご協力いただきましてありがとうございました。本研究について、研究変更を行いました
ので、ご報告させていただきます。なお、この変更にあたっては、東京大学倫理審査専門委
員会の審査と承認を経て実施されます。

変更内容

研究従事者の更新と追加を行いました

- ~~→ Peng Yang 大学院総合文化研究科 進化認知科学研究センター → 特任研究員~~
- ~~→ 吉野 信哉 大学院総合文化研究科 進化認知科学研究センター → 学術支援職員~~
- ・ 笠井 清登 医学部附属病院 精神神経科 教授
- ・ 森田 健太郎 医学部附属病院 リハビリテーション部 助教
- ・ 里村 嘉弘 大学院医学系研究科 医学のダイバーシティ教育研究センター 准教授

Web アンケートを東京大学アカウントの Google form に変更します

月1回の Web アンケートですが、2022年3月より Google form への変更を予定しており
ます。引き続きご回答をよろしくお願いいたします。

行動履歴データの解析担当部署を更新しました。

位置情報を含む行動履歴データは解析担当部署（医学部附属病院医学のダイバーシティ教育研究センター、名古屋大学大学院理学研究科生命理学専攻、東北大学大学院環境科学研究科、もしくはレイ・フロンティア社）にて適切に保管される。

（解説）行動履歴データは、個人の自宅、職場、よく行く場所などが同定しうるため、この研究では個人情報として取り扱っています。個人情報保護を適切に行うため、研究リクルートをする部署（東京大学大学院総合文化研究科）と行動履歴データを解析する部署を独立させています。これまで東京大学内で行動履歴データを解析する部署として、東京大学医学部附属病院が担当していましたが、このたび、同病院でも研究参加者のリクルートを開始することになったため、独立した部署とすることが困難になりました。そのため、医学のダイバーシティ教育研究センターに解析担当を新たにお願いすることによって、個人情報保護を

適切に行っていきたいと考えています。

倫理委員会承認日 2022年1月25日

審査番号 21-370